

フジ・メティア・ホールティングス レポート

第70期報告書 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

INTERVIEW

_

豊田皓社長が語る

強靭な体質のさらなる強化と新たな成長分野への挑戦

 Γ O P I C S

7期連続視聴率三冠王達成、3D映画大ヒット! CD・DVDも好調、費用改善効果で大幅増益

持

東日本大震災とフジ・メディア・ホールディングス

NEWS CLIP

BSフジを完全子会社化

- ▶ CSR通信 vol.9 被災地の子ども達に喜びを! 「こどもおうえんプロジェクト」スタート
- ▶ 2011年7月24日、地上波完全デジタル化へ
- ト 株主優待のご紹介

THE FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.

証券コード: 4676

メディア・コンテンツ産業のリーディングカンパニーとして

この度の東日本大震災により、被災されたすべての方々に心よりお 見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚 く御礼申し上げます。

当社グループは、震災にあたりまして、メディアグループとしての公共的使命を果たすため、グループのメディアの総力をあげ、正確でわかりやすい報道番組を送り出し続けております。グループの中核㈱フジテレビジョンでは、地震発生から約3日間にわたり、報道特別番組を放送いたしました。さらに、一人でも多くの方に情報を届けるため、初動時には㈱ビーエスフジでも同時放送し、さらに緊急対応の試みとして、インターネットを通して同時配信いたしました。また、震災からの復興を応援する音楽テレビ番組を㈱ニッポン放送を通じて、同時に全国でラジオ放送をいたしました。緊急事

態における情報ライフラインとして、またエンターテインメント・メディアとして、国民の皆様の信頼と期待に応えることで、メディアグループの価値を見直していただけたと自負しております。

当社グループが、認定放送持株会社体制へ移行して間もなく3年が経過します。その間、厳しい事業環境の下、グループのガバナンスを強化し、各社のコスト管理の徹底を図り、強靭な企業体質を構築する努力を続けてまいりました。その結果、震災による影響はあったものの、広告市況の回復等により、今期は大幅な増益となりました。一方来期は、震災の影響もあり、景気の先行きを見通すのは大変難しい状況です。しかし、日本経済の底力と一日も早い景気回復を信じ、放送番組を中心に、映画やイベント、映像・音楽、生活情報等、グループ内の様々なコンテンツから生まれる価値と収益の最大化を目指します。そして、持続的に成長する強固な事業基盤を確立することで、株主の皆様のご期待に応えてまいる所存です。

何とぞ、これからも当社グループに対して倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役会長 (Chairman & CEO)

代表取締役社長 (President & COO)

a核久



目次

- 1 ごあいさつ (P1-2)
- ② 豊田皓社長インタビュー (P3-4)
- (P5-6) 連結業績ハイライト (P5-6)
- ○4 グループアウトライン (P7-8)
- 05 トピックス (P9-12)
- (特集)東日本大震災とフジ・メディア・ホールディングス (P13-14)
- NEWS CLIP) B S フジを完全子会社化 (P15)
- 会社概況/株主優待のご紹介 (P16)
- (P17-18) 株式情報・株主メモ (P17-18)

表紙のご説明

今回の大震災で被害にあわれた方々、復興へ向けて様々な形で支援している方々を応援するため、「ひとつになろう日本(にっぽん)」というキャッチフレーズを作りました。これには、「今ことを日本中の人々がひとつになる。これには、「今ことを日本中の人々がひとつに

なって立ち上がり、復興へ向け、そして未来へ向けて踏み出して行こう」という思いが込められています。

コスト削減の徹底により、厳しい環境下で利益を出す 強靭な体質を確立。このさらなる強化とともに、 新たな成長分野への挑戦を続けます。

当期の業績の概要をご説明ください。

主力の放送事業では、㈱フジテレビジョンが当期も番組視聴率トップで、7期連続の「三冠王」を堅持しました。年度を通してスポットセールスは大変好調で、3月は大震災の影響を受けたものの、放送収入は前期比1.0%の増収でした。また映画事業は「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ!」や「THE LAST MESSAGE 海猿」の大ヒットで歴代最高の売上を記録しています。

映像音楽事業では㈱ポニーキャニオンが大幅増益、また生活情報事業も、㈱ディノスと㈱セシールが共に増益となって黒字化しました。さらに出版不況の中、㈱扶桑社が5年ぶりの黒字となるなど、全てのセグメントで業績が改善した結果、



代表取締役社長 (President & COO)

連結売上高は前期比1.0%増の5,896億71百万円、営業利益は前期比184.0%と大幅増益の263億51百万円、当期純利益も前期比34.1%増の100億2百万円となりました。

来期の業績見込みの概要について説明してください。

震災の影響を踏まえ、現時点で来期は減収減益の予想とせざるを得ません。来期は、連結売上高5,649億円、営業利益131億円、経常利益153億円、当期純利益56億円を見込んでいます。

予想の前提として㈱フジテレビジョンの放送収入は、足下の状況を踏まえて上期は厳しく見込み、下期は徐々に持ち直すと想定していますが、通期では減収の見込みとしています。生活情報、映像音楽など消費者向けの事業も、震災後の消費需要の低迷を前提として計画を立てました。一方で震災からの復興は急速に進んできており、日本経済は底堅く、広告市況での潜在的需要も強いと考えていますので、早いうちに回復の道筋が見えてくると期待しています。また平成23年4月に完全子会社とした㈱ビーエスフジは、フジテレビとの連携をさらに強化して成長を促進していきます。

来期はさらに一段、経営体質を強化し、日本経済の回復と 共に高い収益をあげていけるよう、十分に手を打っておきた いと思います。

グループの成長に向けた取り組みについてお聞かせください。

今、一番の成長分野と位置付けているのがデジタル分野です。 番組配信事業のフジテレビ On Demandは、ラインナップ の充実と共に勢いが加速しており、デジタル事業の柱として期 待しています。ソーシャルゲームをはじめとするゲーム事業に は、いち早く取り組んできましたが、本格的な展開を図ります。

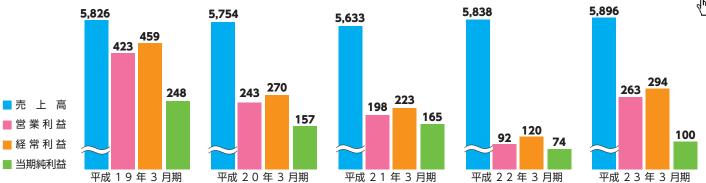
また生活情報事業では、台湾や中国で現地企業とも提携しながら、成長する巨大なアジア市場に対し通信販売事業等の取り組みを開始しました。

来年からサービスを始めるマルチメディア放送にも期待しています。携帯電話はテレビを除けば最も普及している端末ですから、番組などのコンテンツと携帯の機能を連携させ、新たなサービスを提供できるのではないかと期待しています。

技術の進歩と共に変わり続けるメディア環境や、アジアなど成長の見込める海外の市場動向などを見据えながら、常に新しいものに挑戦してきた当社グループならではの成長プランを描いていきたいと思います。

2





売上高について

主力の㈱フジテレビジョンはスポット収入が好調で と伸びて、連結売上高は増収となりました。

損益について

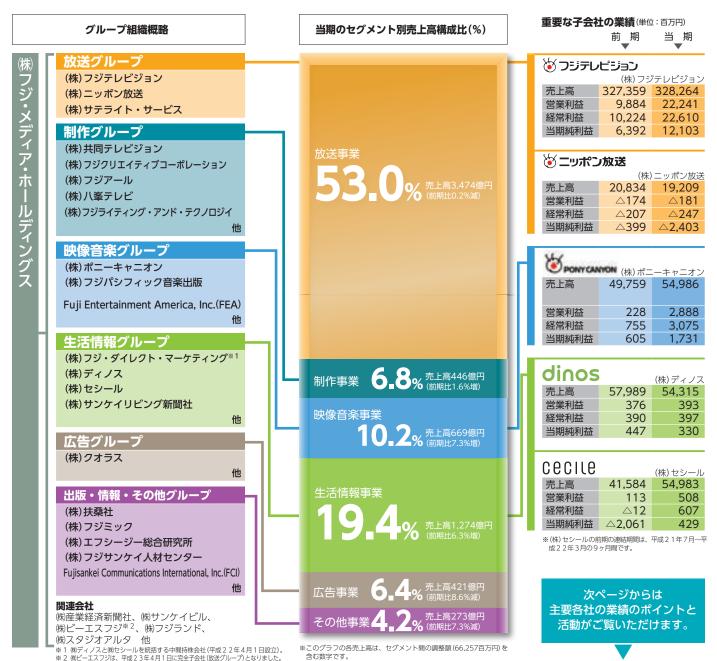
放送事業は微減収ながら、番組制作費等のコストコントロールが奏功して増益となりまし 増収でしたが、放送事業全体では微減収となりまし た。映像音楽事業は増収に加えて、営業費用の削減努力が奏功し大幅な増益となりました。 た。一方で、映像音楽事業では㈱ポニーキャニオン 生活情報事業も費用削減に取り組んだ結果、前期の営業損失を黒字化することができまし がヒット作に恵まれ、生活情報事業では前年7月からた。広告事業は減収でしたが、営業費用の圧縮によって営業損失は縮小しております。その 連結に加わった㈱セシールが当期は連結期間が1年間 他事業も減収でしたが、全面的な費用削減努力によって前期の営業損失から黒字化いたしま した。以上の結果、営業利益、経常利益、当期純利益は増益となりました。

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
	11301 3 7 373/03	113020 - 371701	13021-37370	1130227373703	1130 2 3 + 3717/1
業績データ(億円)					
売上高	5,826	5,754	5,633	5,838	5,896
営業利益	423	243	198	92	263
売上高営業利益率(%)	7.3	4.2	3.5	1.6	4.5
経常利益	459	270	223	120	294
当期純利益	248	157	165	74	100
財務データ(億円)					
総資産	7,314	6,770	6,835	7,531	7,237
流動資産	2,830	2,535	2,943	3,446	3,451
固定資産	4,484	4,234	3,891	4,085	3,786
負債	2,619	2,209	2,301	2,890	2,621
流動負債	1,505	1,154	1,216	1,558	1,298
固定負債	1,113	1,054	1,085	1,331	1,323
純資産	4,695	4,560	4,533	4,641	4,616
キャッシュ・フロー (億円)					
営業活動によるキャッシュ・フロー	607	253	847	186	576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182	△414	△367	△308	△1,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90	△93	△94	253	△333
現金及び現金同等物の残高	1,043	801	1,165	1,280	481
1株当たりデータ(円)					
1 株当たり当期純利益	10,811.13	6,847.60	7,193.40	3,238.69	4,342.98
1 株当たり純資産	201,008.38	195,967.51	194,864.16	199,432.99	198,377.85
1 株当たり配当金	5,000.00	3,600.00	3,600.00	1,600.00	1,800.00

6



認定放送持株会社㈱フジ・メディア・ホールディングスのグループは、6グループ21社の中核子会社で構成されています。㈱フジ・メディア・ホールディングスは事業面で緊密な関係を有する関連会社をはじめ、フジサンケイグループ各社と事業・文化活動においてさらに連携を強めてまいります。





ここからは、主要各社の業績と活動を振り返ってご紹介いたします。

🏵 フジテレビジョン

(株) フジテレビジョン

売 上 高 **328,264**百万円 (前期比0.3%增)

営業利益 22,241百万円

(前期比125.0%增)

業績のポイント▶ 放送収入は、昨年から引 き続きスポット収入が伸びて増収となり、放 送外収入では映画事業で歴代新記録の売上 となったものの、放送外収入全体の売上高は 減収となり、その結果、売上高全体では微増 収となりました。

営業費用は効果的なコストコントロールで 大幅に減少し、営業利益は増益となりました。



7期連続視聴率三冠干! 視聴者の心をつかむ 番組制作力を発揮!

フジテレビは平成22年度も引き続き、高 い視聴率を維持する事ができ、ゴールデン、 プライム、全日の時間帯で視聴率トップを獲 得し、7期連続の「三冠王」となりました。

朝帯では「めざましテレビ」が18ヶ月連 続(平成23年3月現在)で構並び視聴率争 いに完勝するなど、好調に推移。ドラマで は「流れ星」(主演竹野内豊、上戸彩)がス マッシュヒットを飛ばし、またバラエティ においては、「めちゃめちゃイケてるッ!|





[めちゃめちゃイケてるッ!]

「THE LAST MESSAGE海猿」 ©2010 プジテレビジョン ROBOT ポニーキャニオン 東宝 小学館 エー・チーム FNS 27社



Costumes: Marie-Chantale Vaillancourt © 2010,2011 Fuji Television

がレギュラーの岡村隆史の復帰をチリの奇跡の救出劇をパロディにした演出で放送し、存在感を示し ました。スポーツ番組では全日本フィギュアスケート選手権が連日の中継で高視聴率を獲得しました。 7期連続三冠王の勢いでこれからも、視聴者の皆様に愛されるテレビ番組を作り続けてまいり ます。

平成22年度実写邦画の興行収入No.1、2を獲得!

平成22年度は全11作品を公開し「のだめカンタービレ最終楽章・後編」(37億円)、「踊る 大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ! I(73億円)、「THE LAST MESSA GE 海猿 | (80億円)、「SP野望篇 | (36億円)、「SP革命篇 | (33億円)が興行収入30億 円を超える大ヒットを記録しました。そしてフジテレビ初の大型30作品「海猿」と「踊る3」は 平成22年度の実写邦画においてNo.1、No.2ヒット作品となりました。また平成22 年11月からフジテレビ映画のインターネット配信を本格的に開始して好調なスタートを切り ました。

「クーザ」をはじめ海外イベントが好調!

平成22年度は、夏に開催された恐竜ロボットによる全国アリーナショー「ウォーキング・ウィズ・ ダイナソー|の大成功に続き、秋以降は「クリーブランド管弦楽団|来日公演、「シャガール展|といっ た海外のコンテンツが好成績となりました。国内コンテンツでは、東京ドームでの物産展「ふるさと 祭り」、ミュージカル「愛と青春の宝塚」が健闘しました。平成23年2月にはシルク・ドゥ・ソレイ ユによるスーパーサーカス「クーザ」が開幕。震災により中断期間がありましたが、再開以降も大好 評をいただいており、東京公演に続き全国へと展開いたします。



(ニッポン放送

(株)ニッポン放送

売上高📉 営業損失 📉 19,209百万円(前期比7.8%減) 181百万円(前期比 —%)

業績のポイント▶放送収入やイベント興行収入が 減収となりました。営業費用についてはコスト削 減に努めましたが、減収による影響を受け、損失 増となりました。

6月に新番組編成 イベントも多彩

平成22年6月に番組改編 を行い、「高嶋ひでたけの朝 ラジ! | 「上柳昌彦 ごごば ん! | 「徳光和夫 とくモリ!歌 謡サタデー」をスタートしま した。イベントも多彩で、平 成23年1月に文化放送と共 同で開催した「セイ!ヤング・



Are you ready?oh!]

オールナイトニッポンコンサートAre you ready? oh!|は谷村新司、泉谷しげる、南こうせつ、さだまさしら往 年の「セイ!ヤング」「オールナイトニッポン」の名パーソナリティ たちが熱いステージを繰り広げ、大成功を収めました。

(株) ポニーキャニオン

54.986百万円(前期比10.5%增) 売上高🔼 2.888百万円(前期比1,162.8%增) 営業利益 🔼

業績のポイント▶音楽部門でaikoオリジナル アルバムとベストアルバムの計3枚をリリース。 映画部門は「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ!」など大作発売で大幅改善。

ヒット続出の売上高前期比10%増で営業利益大幅改善

aikoのアルバム[BABY] 発売に続き、平成23年2月末 には初のベスト[まとめ] | [まと めⅡ」を発売し大ヒットしまし た。アニメでは「けいおん!! !も 引き続きリリースがヒットを続 け、大きな収益を上げました。 また、韓国DVDも好調で「善徳



女王」「華麗なる遺産」、イ・ビョンホンの「アイリス」も好成績。映画部門では「ワンピース フィルム ストロングワー ルド」「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せ よ!IのDVDを発売し大ヒットしました。

その他の各社の状況

Ouaras

(株) クオラス

コミュニケーションの仕掛けづくり!

CM等のマ ス広告の展開 に加え、エン ターテインメ ント性の高い 施や、アーティ



イベントの実 映画「トロン: レガシー」ジャパン

スト等とのタイアップ展開、WEB・ モバイルとの連動等、様々なコミュ ニケーションの仕掛けづくりを展開 しています。映画「トロン:レガシー」 のジャパンプレミアイベントでは、 最先端アート"3Dプロジェクション マッピング"を用いた映像に、明治 神宮外苑の聖徳記念絵画館が飲み込 まれる演出で、話題を集めました。

dinos

(株)ディノス

54.315 百万円(前期比6.3%減) 売上高 📉 393 百万円(前期比4.7%增) 営業利益 🔼

業績のポイント▶カタログ通販はファッション系が好 調で、リビング系も復調の兆しを見せ、堅調に推移しま したが、他事業と3月の震災の影響により減収となりま した。営業利益は費用改善効果で微増益となりました。

ファッション好調持続!家具などリビングも復調の兆し

ファッションは50代女 性向け『ダーマ』、30代女 性向け『ルール』の両ブラン ドを中心に、売上好調が続 きました。また、7月に創 刊した『ダニエル・エシュテ ル』も売上を伸ばしており、 平成23年度にも新カタロ グの発行を予定しています。 リビングでは、まとめ買い や買い替え促進キャンペー ンの奏功や、薄型テレビの『ダーマ』



普及など市場の後押しもあ り家具が復調、調理用品や掃除機などの生活家電 でヒットが生まれました。

cecile

(株)セシール

54,983百万円(前期比5.1%減) 売上高 📉 **508**百万円(前期比 —%) 営業利益 🔼 業績のポイント▶通販事業は、猛暑等の天候不順な どの影響で減収となりましたが、卸売事業は、順調 に推移し増収となっています。営業利益はカタログ 費用等の経費の圧縮により増益となりました。 ※平成21年4月~平成22年3月の前期実績と対比しています。

カタログ依存の通販モデルからの脱却

カタログ通販が 事業の中核です が、小売大手など への商品卸売事業 の強化、昨年銀座 にオープンしたイ ンナーショップ [söpö sopi



i (ソッポソッピ)]によるリアル店舗展開、通販ド ラマへの商品供給など[カタログ依存からの脱却]、 インターネット、テレビ、新聞、テレマーケティ ング等の通販手法を総合展開するビジネスモデル への転換をメインテーマに事業を推進しました。

(株)扶桑社



「モムチャンダイエット プレミアム」

企業体質改善で黒字確保!

近年続いている出版売上の漸減の 影響を受けましたが、書籍「モムチャ ンダイエット プレミアム1(57万 部・写真)、「スポーツ速読完全マス ターBOOK」(12万部)の2冊が ベストセラーとなったことに加え、 コスト削減を進めることにより企業 体質のスリム化を図り、営業利益か ら当期純利益まで黒字化しました。

1 1

[特集] 東日本大震災とフジ・メディア・ホールディングス



報道の現場から

「なぜ、これを報道するのか」、 「もしも、自分が被災したら…」

圧倒的な自然の脅威を前にして呆然となりそうになる中、フジテレビは単なる物量報道ではなく、記者・カメラマン・ディレクターなどが救援の思想を心底において取材・報道にあたることを心がけてきました。

被災者の悲しみを伝えることは、被災から逃れ安全な地域で暮らす人々が被災者の気持ちを 共有することになり、被災者のために何ができ



るかを自問自答し行動に 移すきっかけになると考 えました。また、自らの 命を犠牲にしてまで住民 に避難を呼びかけた町職 員、警察官、消防団員、 自衛隊員、原発の作業員 などに注目、「公」の精神 が日本の社会で失われて



箕輪報道局長

いないことを伝えました。それは、被災者にとってこの社会が信用できるものと映り、生きる希望につながると考えたからです。

震災を風化させてはならない、それが報道の 責任だと考えています。そのためにも、①できる限り震災報道を継続し、②批判よりも提言に 重点をおき、③被災者に寄り添う気持ちで今後 も報道していきます。そして、国民の一体感を 背景にした復興への道筋を丹念に記録し、検証 していきたいと考えています。

フジネットワーク募金ご報告

FNS・フジネットワークでは、震災後すぐに東日本大震災の被災者救援のため、テレビを通じて日本全国に緊急募金を呼びかけました。

一般の方々からの寄付金に、フジ・メディア・ホールディングスのグループ各社やネット局28社からの寄付金を加えた全額を、平成23年5月16日に日本赤十字社へ寄付いたしました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

義援金総額 15億2,828万5,111円

(平成23年3月13日~4月30日)

今後は、FNSチャリティキャンペーン として支援を続けてまいります。

集まった寄付金は、日本ユニセフ協会を 通じて東日本大震災で被災した子供たちの 教育支援などに使われます。

銀行口座:みずほ銀行東京中央支店

口座番号:2258858

口座名: FNSチャリティキャンペーン事務局

グループ各社の活動ご報告

(㈱ニッポン放送は、災害時の「適切な情報」と被災地への「活力」を提供することに努めました。震災発生直後から62時間超ノンストップで報道特番を放送した他、支援活動の一環として、平成23年4月9日・10日の24時間、福山雅治を起用した「ラジオ・チャリティ・ミュージックソンSPI'mwithU キミと、24時間ラジオ」を放送しました。

(㈱ディノスは、支援物資として、衣料品等を被災地に発送しました。また、震災後に企画した「プレミアムファミリーセール」の収益金全額や、オフィスの節電による電気料金の前年との差額分等を義援金として寄付しました。さらに、オンラインショップ会員に義援金付きクーポンを発行し、利用クーポン金額と同額を寄付しました。

(㈱セシールは、緊急支援物資として、衣料品や毛布など合計5万点を被災地に向けて発送しました。また、オンラインショップで「1ポイント=1円」とするポイント募金に、5万人を超えるご厚意が寄せられ、集まったポイント募金と同額を会社が加え、義援金として寄付しました。

今後も当社グループは被災地の復興を支援してまいります。

CSR通信Vol.9

被災地の子ども達に喜びを! FNS系列局と共に長期的な支援活動を目指す 「こどもおうえんプロジェクト」スタート ひとつに なろう 日本

1 3



岩手県大槌町の堤乳幼児保育園を訪問する 岩手めんこいテレビキャラクター・ミット君

フジ・メディア・ホールディングスは、フジテレビCSR推進プロジェクトチームを中心に、『こどもおうえんプロジェクト』を立ち上げています。震災一週間後にスタートしたこのプロジェクトでは、グループ各社、FNS系列局等の協力を得て、子ども用玩具や文房具などを岩手・宮城・福島の被災地に届けています。配布には系列局のキャラクターが参加。子ども達の元気な歓声に包まれ、和やかな時間となっています。現在までに集まった品物は、2万点以上。被災地の復旧・復興のペースに合わせ、ニーズに応じた息の長い支援活動を行い、子ども達を応援したいと考えています。

BSフジを完全子会社化。 地デジ、CS、BSの3波体制が完成!

平成23年4月に㈱ビーエスフジを完全子会社化いたしました。今後は、地上波無料広告放送を主力としつつ、無料広告放送のBS・有料放送のCS、両衛星波を有機的に組み合わせ、それら3波を一体として効果的に運営してまいります。

(㈱ビーエスフジは平成12年12月の開局以来、新しい放送文化の創造を目指して話題性溢れるオリジナル番組を制作・放送してまいりました。特に平成21年4月にスタートした『BSフジLIVE プライムニュース』は、フジテレビ系列のBS放送だからこそ実現したプライムタイムの大型報道番組として幅広い視聴者層から絶大なる評価をいただいております。他にも『欧州鉄道の旅』『大使館の食卓』『所さんの世田谷ベース』などの人気レギュラー番組、さらに『坂口憲二私旅行アジア万感(全4回)』『中国遺産物語(全6回)』などの大型特別番組も積極的に制作・放送してまいります。



听さんの世田谷ベース」



「BSフジLIVE プライムニュース」

2011年7月24日 いよいよ 地上波完全デジタル化へ!

いよいよ地上デジタル放送への完全移行まで、あと 1ヶ月となりました。ご覧のテレビはデジタル化 されていますか?

デジタル放送をご覧の方も、ご自宅の中に地デジ化されていないテレビはありませんか? お早めのご対応をよろしくお願いいたします。 困ったこと、わからないことは、

総務省地デジコールセンター Tel.0570-07-0101

(受付時間 平日9:00~21:00 十日祝 9:00~18:00)まで

※東日本大震災にて甚大な影響を受けた 岩手、宮城、福島の3県については、 最長1年間、アナログ放送の停止を延期 することが総務省から発表されました。



08

会社概況

会社概要 (平成23年3月31日現在)

会 社 名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス (FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.)

事 業 内 容 認定放送持株会社

決 算 期 3月31日

資 本 金 1,462億35万円 連 結 従 業 員 数 5,883名

連結従業員数 5,883名

本 社 〒137-8088 東京都港区台場二丁目4番8号

役 員 (平成23年6月30日現在)

代表取締役会長 日 枝 大 山 代表取締役社長 豊田 \mathbb{H} 雅 皓 締 文 専務取締役 太田英 昭 締 役 寺 﨑 一 嘉納修治 清 原 武 専務取締役 常務取締役 飯島一暢 常勤監査役 尾 上 規 遠藤龍之介 常勤監査役 瀬田 役 鈴木克明 茂 木 友三郎 ĦΖ 締 役 査 役 役 稲木甲二 査 役 南 直 出 功 一 木 明

インフォメーション

株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する魅力を高めていただくことを目的として、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された1株以上を保有する株主の皆様を対象として、当社オリジナル手帳を贈呈しております。この手帳は、12月上旬に発送いたします。



裏表紙の「はちたま見学パスポート」もご利用ください!

ホームページでも情報公開中!

最新の I R情報をはじめ、C S R活動への取り組み等、当社の様々な情報をご覧いただけます。

www.fujimediahd.co.jp

フジ・メディア・ホールディングス





9.000.000株 2,364,298株 66.589名

(注)発行済株式の総数には自己株式及び放送法に基づき名義書換を拒否し た株式(外国人持株調整株式)が含まれております。

大株主

株主数

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
株 主 名	持株数(株)	比率(%)
東宝株式会社	183,221	7.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	110,550	4.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	100,872	4.27
シービーニューヨークオービスファンズ	96,341	4.07
株式会社文化放送	77,920	3.30
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	77,000	3.26
関西テレビ放送株式会社	54,461	2.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託□・株式会社電通□)	46,500	1.97
株式会社ヤクルト本社	39,690	1.68
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	39,558	1.67

(注)上記のほか、当社所有の自己株式61,202株があります。

所有者別株式分布状況

株主数

政府及び地方公共団体	1名	(0.0%)
金融機関	104名	(0.2%)
金融商品取引業者	39名	(0.1%)
その他の法人	490名	(0.7%)
外国法人等	474名	(0.7%)
個人その他	65,481名	(98.3%)

株式数

1-1-2-422		
政府及び地方公共団体	2株	(0.0%)
金融機関	508,198株	(21.5%)
金融商品取引業者	48,070株	(2.0%)
その他の法人	718,217株	(30.4%)
—————————————————————————————————————	460,619株	(19.5%)
個人その他	629,192株	(26.6%)

- (注1)「その他の法人」には、証券保管振替機構(失念株式)名義の株式が403株 含まれております。
- (注2)放送法で定める外国人等の有する議決権数の当社議決権総数に占める割 合は19.99%です。
- (注3)「個人その他」には、自己株式61,202株及び放送法に基づき名義書換を拒 否した株式(外国人持株調整株式)230,304株が含まれております。
- (注4)比率は小数第2位を四捨五入しております。

事	業		年	度	4月1日~3月31日
配当	当金受	領の核	未主 確 5	₹8	3月31日及び中間配当を行う場合は9月30日
定	時	株主		会	6月下旬
株:	主名第	第 管 :	埋 人 及	び	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
特別	別口座	の口屋	座管理機	幾関	みずほ信託銀行株式会社
a	3女	取却	 及 場		東京都中央区八重洲1丁目2番1号
事	務	取	场	所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公	告	の	 方	 法	産業経済新聞に掲載します。

外国人等の株主名簿への記載・記録の制限等

当社は、放送法で定める外国人等(①日本の国籍を有しない人、②外国政府又はその代表者、③外 国の法人又は団体、④「①から③までに掲げる者」により直接に占められる議決権の割合が総務省令 で定める割合以上である法人又は団体)の有する議決権について、①から③までに掲げる者により直 接に占められる議決権の割合とこれらの者により④に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割 合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、議決権の20%以上となる場合には、放送法 の規定により、認定放送持株会社の認定が取り消されることになります。そのため、このような状態 に至るときには、放送法の規定に基づき、外国人等からの株式の名義書換請求等による株主名簿へ の記載・記録を拒否し、又は、外国人等の議決権行使を制限することができるとされています。

お知らせ -

- 配当金計算書について
- 1. 配当金を配当金領収証にてお受取りの株主様へ

本年お受取りの配当金について確定申告を行う場合は、配当金領収証に同封いたしまし た「配当金計算書」が添付書類となります。

- 注) 「配当金計算書」は、租税特別措置法上の「支払通知書」を兼ねた書類ですので、確定申告 の際にご利用いただけます。
- 2. 配当金の受取方法として、口座振込を指定されている株主様へ 同様に確定申告を行う場合は、同封の「配当金計算書」が添付書類となります。
- 3. 配当金の受取方法として、証券会社にて「株式数比例配分方式」を利用されている株主様へ 確定申告を行う際の添付書類等につきましては、お手数ですがお取引の証券会社にお問合せ ください。

株式に関するお手続

- ●株式に関する各種お手続(住所変更、配当金受領方法の指定など)は、株主様が□座を開設され ている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問合せください (ただし、郵送物等の発送と返戻に関するご照会と株式事務に関する一般的なお問合せは、株主 名簿管理人:下記フリーダイヤルにお問合せください)。
- ●株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、 「特別□座」で管理されております。 「特別□座」に関する各種お手続(証券会社の□座への振替、 住所変更、配当金受領方法の指定など)は、みずほ信託銀行株式会社本・支店及びみずほインベ スターズ証券株式会社本・支店にて受け付けます。
 - なお、「特別口座」の詳細につきましては、下記のフリーダイヤルにお問合せください。

00 0120-288-324

- ●払渡し期間経過後の配当金領収証(いわゆる「未払配当金」にかかる領収証)をお持ちの株主様は、 配当金領収証に押印のうえ同領収証裏面に記載の送付先にお送りいただくか、次の場所に配当 金領収証をお持ちください。
 - ●みずほ信託銀行株式会社本・支店
 - 株式会社みずほ銀行本・支店
- ●みずほインベスターズ証券株式会社本・支店